

獣医麻酔外科学会

日本小動物外科専門医協会
平成22年度総会資料

日時 平成22年7月30日(金)
場所 大宮ソニックシティーホール
603会議室

日本小動物外科専門医協会

日本小動物外科専門医協会
平成 22 年度 総会議案書

日 時：平成 22 年 7 月 30 日（金）17 時～18 時
場 所：大宮ソニックシティ 603 会議室

1. 議事

- 1) 平成 21 年度事業報告
- 2) 平成 21 年度決算
- 3) 平成 21 年度監査報告
- 4) 平成 22 年度事業計画
- 5) 平成 22 年度予算案
- 6) 専門医試験問題作成について
- 7) その他

2. 報告事項

- 1) 平成 22 年度認定研修プログラム・研修施設
- 2) 平成 22 年度研研修参加者・研修免除者
- 3) 平成 21 年度第 1 回専門医試験(5 月 13～15 日)
- 4) レジデントプログラム
- 5) 平成 22 年度の専門医制度冊子の発行
- 6) その他

議 事

1. 審議事項

1) 平成 21 年度事業報告

- (1) 会員数：平成 22 年度末において正会員 65 名。内訳、設立専門医 65 名。
- (2) 総会：平成 21 年 6 月 26 日(金)大宮ソニックシティー
 - ・平成 20 年度事業、決算および監査報告
 - ・平成 21 年度事業および予算
 - ・規約改正および施行細則の制定
 - ・役員改選期であるが、専門医制度事業の推進途上であることから、全役員の再任が承認された。
- (3) 資格審査委員会：3 月 25 日午後 4 時～9 時、東京大学 AMC セミナー室
 - ・平成 22 年度専門医制度各種報告事項および平成 23 年度専門医制度各種申請事項の審査・承認などを行った。
- (4) 試験委員会
 - ・試験問題の作成依頼および症例筆記試験問題作成を依頼した。
 - ・試験問題の選抜：1 回目 3 月 17 日および 2 回目 4 月 21 日、いずれも午前 9 時から午後 6 時迄、専門医 5 名で実施した。

2) 平成 21 年度決算（別紙 1）

3) 平成 21 年度監査報告（別紙 2）

4) 平成 22 年度事業計画

- (1) 平成 22 年度 第 1 回 日本小動物外科専門医認定試験の実施
 - ・平成 22 年 5 月 12 日～14 日、東京都渋谷区 Ts 渋谷フラッグ
 - ・別枠制度 2 名および研修免除制度 1 名の受験者合計計 3 名
 - ・試験委員会委員 3 名、試験問題確認 2 名
- (2) 第 1 回レジデントプログラム：平成 22 年 7 月 30 日(金)13 時～16 時 30 分、13 名参加
- (3) 平成 22 年度総会の開催：平成 22 年 7 月 30 日(金)17 時～18 時
- (4) 平成 22 年度専門医制度各種報告事項および平成 23 年度専門医制度各種申請事項の審査・承認（平成 23 年 3 月開催予定）

5) 平成 22 年度予算案（別紙 3）

6) 専門医試験問題作成について

- ・平成 22 年度の試験問題の作成依頼：第 1 回平成 21 年 3 月 30 日
試験問題提出者 38 名、未提出者 20 名、辞退者 7 名
- ・症例筆記試験問題作成依頼：10 名提出/未提出者 20 名
- ・問題作成の協力依頼

7) その他

2. 報告事項

1) 認定委員会報告

(1) 平成 22 年度認定研修プログラム・研修施設

- ・平成 22 年度認定研修プログラムと研修施設

基幹研修施設：岐阜大学・鳥取大学の計 2 施設、(平成 21 年度認定 11 施設)

関連研修施設：岐阜大学－茶屋ヶ坂動物病院、東京大学－日本動物高度医療センター、
南動物病院－とがさき動物病院・遠藤動物病院の計 4 施設
(平成 21 年度認定 8 施設)

(2) 平成 22 年度研研修参加者・研修免除者

- ・平成 22 年度認定研修参加者 7 名(平成 21 年度研修継続者 9 名、研修辞退者 3 名)

- ・研修免除受験申請資格認定者 1 名(平成 21 年度 1 名)

(3) レジデントプログラム(7 月 30 日)

- ・本専門医制度に関わる第 1 回日本小動物外科専門医レジデント成果発表会(レジデントプログラム)が、本日 13 時から 16 時半まで 13 名のレジデントの発表演題を得て開催された。

2) 試験委員会報告

- ・平成 21 年度第 1 回専門医認定試験(5 月 13～15 日)

別枠制度受験者 2 名、研修免除制度受験者 1 名の計 3 名が受験。

合格者はなし(内 2 名は部分合格(2 部門))

3) 平成 23 年度の専門医制度冊子の発行

- ・本総会終了後、速やかに学会ホームページに専門医制度に関わる平成 23 年度版が掲載される予定です。冊子体としては発行されませんので、ご注意ください。

- ・平成 22 年度諸報告書および平成 23 年度申請書の提出期限が 2 週間程度早まる予定です。学会ホームページに掲載される平成 23 年度の専門医制度記事にご注意ください。

4) その他

(別紙1)

平成21年度決算

平成22年3月31日現在

収入の部

	決算額 (円)	予算額 (円)	増減(円)	摘要
前年度より繰越	2,520,000	2,520,000	0	
獣医麻酔外科学会より	2,000,000	2,000,000	0	
年次審査料	100,000	0	100,000	10,000円×10名
研修免除審査料	30,000	0	30,000	
別枠受験資格審査料	60,000	0	60,000	30,000円×2名
受験料	150,000	0	150,000	50,000円×3名
合計	4,860,000	4,520,000	340,000	

支出の部

	決算額 (円)	予算額 (円)	増減(円)	摘要
会議費	100,102	100,000	102	総会×1、理事会×2、委員会×2
会議旅費	518,280	1,100,000	-581,720	理事会×1、委員会×2
謝金	180,000	0	180,000	資格審査、試験問題選定
印刷費	223,587	250,000	-26,413	専門医制度冊子
通信費	2,690	150,000	-147,310	送料他
事務費	0	10,000	-10,000	
消耗品費	0	50,000	-50,000	
雑費	5,040	10,000	-4,960	振込手数料
予備費	0	2,850,000	-2,850,000	
獣医麻酔外科学会へ返却	970,301	0	970,301	
次年度へ繰越	2,860,000	0	2,860,000	
合計	4,860,000	4,520,000	340,000	

(別紙2)

監査報告

平成 21 年度（自 平成 21 年 4 月 1 日、至 平成 22 年 3 月 31 日）の事業および収支決算書の監査を実施しましたので下記のとおり報告します。

記

1. 事業について

日本小動物外科専門医協会定期総会において決定された事業計画が円滑かつ確実に遂行され、適切な運営がなされていることを認めます。


2. 会計について

平成 21 年度会計の収支支出台帳、各帳簿および各証拠書類の整理・管理は適正に行われていることを認めます。


以上

平成 22 年 7 月 26 日

日本小動物外科専門医協会 監事

小川博之 

日本小動物外科専門医協会 監事

若尾義人 

平成22年度予算案

平成22年7月30日

収入の部

	予算額 (円)	摘要
前年度より繰越	2,860,000	
獣医麻酔外科学会より	1,000,000	
年次審査料	160,000	10,000円×16名
研修免除審査料	0	
別枠受験資格審査料	60,000	30,000円×2名
受験料	300,000	50,000円×6名
合計	4,380,000	

支出の部

	予算額 (円)	摘要
会議費	320,000	総会×1、理事会×2、委員会×2
旅費	980,000	理事会×1、委員会×2
謝金	440,000	審査・試験関係
印刷費	10,000	試験問題他
通信費	30,000	送料他
事務費	10,000	文房具他
消耗品費	60,000	試験用品、表彰状、賞品等
雑費	20,000	振込手数料
予備費	2,510,000	
合計	4,380,000	

2010年7月30日

試験委員会報告

試験委員会委員長 泉澤康晴
副委員長 大石明広
宮原和郎

1. 試験問題作成に関して

- 1) 試験問題（学術筆記、実地筆記）作成依頼の経緯
 - ・ 2009年3月30日 試験問題作成依頼（提出〆切6月30日）
 - ・ 2009年6月30日 提出〆切延期通知（提出〆切7月17日）
 - ・ 2009年9月8日 提出催促通知（提出〆切9月30日）
- 2) 試験問題提出状況：38人（10月5日）
未提出設立専門医数：27人
内7名は辞退者（定年退職等の理由）
- 3) 提出問題の確認作業
2009年10月5日 開封の後、誤字、体裁等の修正に着手
2009年11月22日 修正問題の確認
- 4) 症例筆記問題作成依頼
上記試験問題未提出者を中心に作成を依頼（12月下旬）
提出期限：2010年2月10日
提出：10人

2. 試験問題選定に関して

- 1) 選定作業日時：3月17日、4月28日／9:00~18:00
- 2) 作業者：原康、浅野和之、望月学、大石明広、泉澤康晴
- 3) 現状をふまえ、当初予定した試験問題選抜委員会による問題修正・削除等の工程をスキップし、試験問題選定委員会による第1回専門医認定試験作成工程に移行した。
 - ・ 3月17日：適切問題の選抜（A,B）
 - ・ 4月28日：試験問題の選定
- 4) 選定は試験要項に従って行なった。
- 5) 正当必須問題／難問題の選定を行なった。

3. 第1回専門医認定試験に関して

- 1) 実施日時：2010年5月12（水）-14日（金）
- 2) 実施場所：T's 渋谷フラッグ7階 8A室
渋谷区宇田川町 33-6 tel:03-5457-7881
- 3) 受験者：3名
- 4) 試験監督：宮原和郎、泉澤康晴、（大石明広：試験問題対応）

- 5) 試験問題確認：佐々木伸雄（13日）、藤永 徹（14日）
- 6) 採 点 ：2010年5月13、14日（金）試験委員会

4. 合否判定：2010年5月14（金）役員会にて

1) 合否判定基準の決定

合格基準の確認：

- ・ 3部門それぞれ正答率80%以上（症例部門は80点以上）を合格とする。
 - ・ 70%未満は不合格とする。
 - ・ 70%以上80%未満について協議
- 資料1

5. 問題資料の処理について：試験委員長が厳重保管する。

6. 試験結果の通知：2010年6月1日（火）

7. 試験問題作成に関する今後の日程

- 1) 設立専門医に対する試験問題作成の依頼 : 8月上旬
- 2) 試験要領のHP掲載 : 6月済み
- 3) 設立専門医からの問題返送 : 10月末日
- 4) 試験問題選抜（選抜委員へ郵送、未公表） : 11月末日まで
- 5) 設立専門医に対する試験問題作成の再依頼 : 11月上旬
- 6) 設立専門医からの問題返送 : 12月下旬
- 7) 試験問題選抜（選抜委員へ郵送） : 1月末日まで
- 8) 試験問題選定 : 3月下旬
- 9) 試験実施に関する打ち合わせ : 2～3月
- 10) 試験（説明を含む） : 5月11-13日
- 11) 表彰 : 6月

* 試験問題作成の依頼

- 1) 学術／実地筆記：全設立専門医に20問／10問
- 2) 症例筆記：委員会で設立専門医複数名に依頼

添付資料

- 1. 平成22年度 日本小動物外科専門医認定試験 合否判定基準
- 2. 平成23年度 日本小動物外科専門医認定試験問題作成要領

2010年5月14日

合否判定基準

試験委員会委員長 泉澤康晴

1. 症例筆記試験に関して (100点×3=300点)
 - ・ 合計240点(80%)以上を合格とする。
 - ・ 209点以下(70%未満)を不合格とする。
 - ・ 合計210点(70%)以上～240点(80%)未満については、3種(一般、整形、軟部)の全てで70点(70%)以上の場合合格とする。

2. 実地筆記試験に関して
(全90問、内整形/軟部各40%、一般/その他各10%)
 - ・ 正答数72問(80%)以上を合格とする。
 - ・ 正答数62問以下(70%未満)を不合格とする。
 - ・ 正答数63問(70%)以上～72問(80%)未満については、一般、整形、軟部、その他の全てで70%以上の正答率の場合合格とする。

3. 学術筆記試験に関して
(全180問、内整形/軟部各40%、一般/その他各10%、
内 正当必須問題10問、難易問題10問)
 - ・ 正答数144問(80%)以上を合格とする。
 - ・ 正答数125問以下(70%未満)を不合格とする。
 - ・ 正答数126問(70%)以上～144問(80%)未満については、正当必須問題(10問)の正答数8問以上、かつ難問題(10問)の正答数5問以上の場合合格とする。

問題作成要領

下記の要領に従って、問題作成(ファイルへの入力)をしていただき、作成問題や画像を入れたCDを協会まで送付願います。

1. 作成した問題の入力用ファイルの受取り

- (1) 専門医協会の全員に向け、メール配信にて問題作成用ファイルをお送りします。
- (2) お送りするファイルは以下の4つです。
 - ① 学術筆記試験のサンプル問題入力例 (ファイル名: **gakuju-ref.doc**)
 - ② 学術筆記試験の作成問題入力シート (ファイル名: **gakuju-inp.doc**)
 - ③ 実地筆記試験のサンプル問題入力例 (ファイル名: **jicchi-ref.doc**)
 - ④ 実地筆記試験の作成問題入力シート (ファイル名: **jicchi-inp.doc**)
- (3) 上記4ファイルがメールにて届きましてから問題の作成をお始めください。

2. サンプル問題の入力例参照について

(2つのサンプルファイルを開き問題作成のための参考としてください。)

(1) 学術筆記試験問題 (gakuju-ref.doc)

- ① 10問のサンプル問題が例示されています(後半がサンプルの入力例です)。
- ② いくつかの出題形式が示されていますがすべて**四者択一**です。
- ③ 問題中に図や写真は使われません。
- ④ すべて1-4までの**番号解答**となっています。
- ⑤ 問題入力シートには出題分野と細目、**正解**、および**出題者名**も記載されています。
- ⑥ 必要がある場合に、問題と正解の解説が書き込めるよう**備考欄**が設けてあります。

(2) 実地筆記試験問題 (jicchi-ref.doc)

- ① 1つのサンプル問題が例示されています(後半がサンプルの入力例です)。
- ② 問題のはじめに置かれている写真は映写スライドの概説用で、入力サンプルではスライド画像に関する簡単な説明がなされた後、いくつかの設問形式で問題が入力されています(サンプルは3設問となっています)。
- ③ 設問には**四者択一**の番号選択で解答するようになっています。
- ④ 解答は問1から問6まで設問数に応じて記入されており、各設問の**配点**が指定されています。
- ⑤ 学術筆記試験問題の入力と同様、出題分野、細目、出題者名が記載されており、問題解説用の備考欄が設けられています。

3. 作成問題の入力について

(1) 学術筆記試験問題 (jicchi-ref.doc)

- ① **10問作成**してください。すべて図・写真を含まない(文章のみの) **四者択一**の問題としてください。
- ② 10問のそれぞれのシートにすべて**出題者名**を記入してください。
- ③ ひとつのシートに1問づつ問題を作成してください。各シートごとに問題の**分野**と**細目**を明記してください。分野は、1**総論**、2**軟部組織外科**、3**整形外科**(脳神経外科を含む)、4**その他**(麻酔、眼科等)のいずれかとしてください。細目は何に

資料 2

関する問題かがわかるよう、臓器病名、手術名、現象名、薬物名、または方法名などとしてください。

- ④ 10 問中、総論 2 問、軟部組織外科 2 問、整形外科 2 問、その他 2 問とし、残りの 2 問は自由な分野選択で作成願いたいと存じます。
- ⑤ 問題の形式についてはサンプルをご参照ください。
- ⑥ 正解欄に問題の**解答番号**をお書きください。
- ⑦ 必要があると考慮される場合には、備考欄に問題の趣旨や正解に関する解説などお書きください。

(2) 実地筆記試験問題 (jicchi-inp.doc)

- ① 2 問作成してください。かならず写真(またはイラスト等)をご用意ください。X 線写真 2 方向、画像検査の組合せ、また手術写真など、2 枚 1 組みとしていただいても結構です。
- ② 試験時にスライド映写を行いますので、写真には JPEG ファイルで保存可能なものを使用し、画像サイズは 80 万画素以上 (24×32cm より大きな画像/1.8Mb 以上のファイルメモリーの画像)としてください。イラスト等を用いる場合も写真と同等の JPEG ファイルとしてください。なお、使用する画像のファイル名には .jpg の拡張子を付していただきますようお願いいたします。
- ③ 問題入力シートには画像を取込まないでください (代わりに「写真または図の説明」欄がありますのでどのような画像かの簡単な説明を、また必要なら画像ファイル名をお書きください)。
- ④ 設問は、問 1、問 2、.... としていただき、3 問以上で 6 問まで作成可能となっています。
- ⑤ 正解欄には各設問の**解答番号**をお書きください。
- ⑥ **配点**は必要な場合ご指定ください (1 問題を合計 10 点～15 点としてください)。
- ⑦ 分野、細目、出題者名、備考への記入については学術筆記試験問題と同じです。

4. 問題入力ファイルの送付について

- (1) 作成した問題のファイルは CD に記録して 協会宛に郵送願います。
- (2) CD の作成
 - ① 同封されている未使用 CD をお使いください。
 - ② CD に入れるファイルは、学術筆記試験問題 (**gakuju-inp.doc**)、実地筆記試験問題 (**jicchi-inp.doc**)、および画像ファイル (xxxxx.jpg / 2 つ以上) としてください。
 - ③ すべてのファイルを CD に入れたら後、ROM 用に CD を作成してください。
- (3) 作成した CD を同封の封筒に入れて郵送してください。
- (4) 問題送付の締切りを 6 月末とさせていただきますので厳守願います。

5. 守秘義務および漏洩防止について

- (1) 協会員におかれましては作成した問題につきましても 守秘義務を励行願います。
- (2) CD 送付後にはくれぐれも PC 内の関連ファイルすべてを消去していただきますようお願いいたします。
- (3) 試験問題漏洩に関わった場合について 専門医協会の除名規定が設けられましたのでご注意ください。

なお、ご不明な点がございましたら、専門医協会までお問い合わせ下さいますようお願い申し上げます。

基幹施設	関連施設	施設長	研修責任者
北海道大学大学院獣医学研究科附属動物病院		稲葉 睦	奥村 正裕
岩手大学農学部附属動物病院		安田 準	大石 明広
東京大学大学院農学生命科学研究科附属動物医療センター		佐々木 伸雄	西村 亮平
	日本動物高度医療センター	金重 辰雄	小川 博之
東京農工大学附属動物医療センター		岩崎 利郎	伊藤 博
岐阜大学動物病院		鬼頭 克也	丸尾 幸嗣
	茶屋ヶ坂動物病院	金本 勇	金本 勇
鳥取大学附属動物病院		日笠 喜朗	南 三郎
鹿児島大学附属動物病院		遠藤 泰之	藤木 誠
	九州動物先端医療研究所	坂本 紘	坂本 紘
	かみむら動物病院	上村 利也	上村 利也
大阪府立大学生命環境科学部附属獣医臨床センター		久保 喜平	大橋 文人
	中山獣医科病院	中山 正成	中山 正成
	おり動物病院	織 順一	織 順一
	岸上獣医科病院	岸上 義弘	岸上 義弘
	ファール動物医療センター	山口 力	山口 力
酪農学園大学附属家畜病院		廉澤 剛	廉澤 剛
北里大学獣医学部附属動物病院		岡野 昇三	岡野 昇三
日本獣医生命科学大学附属動物医療センター		多川 政弘	原 康
日本大学生物資源科学部附属動物病院		田中 茂男	浅野 和之
	みなとよこはま動物病院	永岡 勝好	永岡 勝好
南動物病院		南 毅生	南 毅生
	とがさき動物病院	諸角 元二	諸角 元二
	遠藤動物病院	遠藤 薫	遠藤 薫

【研修参加者】16名

会員番号	氏名	所属	指導専門医	研修責任者
2495	青木 由徳	北海道大学動物病院	奥村 正裕	奥村 正裕
2381	大崎 智弘	鳥取大学動物医療センター	南 三郎	南 三郎
2414	藤田 淳	東京大学動物医療センター	佐々木 伸雄	西村 亮平
2460	川上 紋美	ファール動物医療センター	山口 力	山口 力
2488	福井 翔	酪農学園大学家畜病院	廉澤 剛	廉澤 剛
2468	埜田 高広	北里大学動物病院	岡野 昇三	岡野 昇三
2496	石垣 久美子	日本大学動物病院	浅野 和之	浅野 和之
2487	座間 ともね	南動物病院	南 毅生	南 毅生
2492	工藤 徹也	南動物病院	南 毅生	南 毅生
2406	川崎 栄也	東京大学動物医療センター	西村 亮平	西村 亮平
2289	岩井 聡美	北里大学動物病院	左近允 巖	岡野 昇三
2548	三原 吉平	茶屋ヶ坂動物病院	金本 勇	金本 勇
2207	市川 美佳	日本動物高度医療センター	小川 博之	小川 博之
2427	山崎 寛文	日本動物高度医療センター	松永 悟	小川 博之
2555	細谷 謙次	北海道大学動物病院	奥村 正裕	奥村 正裕
2465	関 真美子	日本大学動物病院	浅野 和之	浅野 和之

【研修免除受験申請資格認定者】 1名

2234	北村 雅彦	中山獣医科病院	中山 正成	中山 正成
------	-------	---------	-------	-------